

もったいないよね！

2007.08.28

夏休みの間に溶連菌感染症もりんご病もすっかり下火になった函館地域ですが、ここに来て、手足口病やヘルパンギーナ、ウイルス性胃腸炎など、夏に出番の感染症が子どもと親を悩ませているようです。

8月は毎年恒例で外来小児科学会という小児科外来を行ううえでのスキルと実践に役立つ知識をスタッフとともに学んできました。ワクチンの製造過程をじっくり見てくるなんていうこともしてきましたが、私の一番の目的は子どもとメディアというワークショップをお仲間の先生とすることです。今までもずっと書いていますが、日本の子どもたちは生まれてからほとんどすぐとっていいほど、テレビという平面画像を見続けるというメディア漬けの状態にさらされています。最近起こった祖父を殺害して秋葉原まで行った高校生もきっかけはゲームをするなという祖父との対立だったという話が聞こえてきています。子どもの本懐は体を使ってたくさん遊ぶことです。遊びをすることで子どもは多くのことを学ぶのにその大切な時間をテレビやビデオ漬け、ゲームをしていたのでは時間がほんともったいない。親はテレビを見てくれている間に家事をすればと簡単に考えてしましますが、子どもにはその時間がもったいない。お母さんにたくさんお話したいことがあるのに、会話を通じて自分の話が他人に伝わる喜びや表情から相手がどんなことを感じているのかもテレビを見ている時間で奪われてしまう。

今回の学会で一番の収穫はこんな思いを音楽を通じて子どもたちに伝えている人の存在を知ったことです。その人の名前はカムジー先生。すでに皆さんご存知かもしれませんね。その人が歌っている「もったいないよね！」の歌詞がとってもいい。今の子どもたちの子育てに取り組んでほしいエッセンスがいっぱい。ホームページには歌を歌いながら踊っているカムジー先生と子どもたちの笑顔がたくさんあります。皆さんもぜひのぞいてください。これを見ないでほかのところを見ている時間がもったいないよね。